

平成 26 年度第 2 回経営工学教育 FD/ICT 活用研究委員会議事概要

I. 日 時：平成 26 年 7 月 2 日（水）18：00～19：30

II. 場 所：私立大学情報教育協会事務局 会議室

III. 出席者：渡邊委員長，井上委員，水野委員，玉木委員，小池委員，佐々木委員
（事務局）井端事務局長，野本職員

IV. 議事内容

事例研究（対話集会）の開催について

1. 話題提供（事例紹介）の検討

プロジェクトベース教育を導入している事例として「プロジェクトマネジメント実習（2年後期）」と「プロジェクトマネジメント演習（3年前期）」に関する説明があった。この授業は、ユーザ（教員）の要求・要件に従ってシステム開発を行うものである。「プロジェクトマネジメント実習（2年後期）」では、グループで仕様を作成し、「プロジェクトマネジメント演習（3年前期）」では、あえて異なるグループが作成した仕様のシステム開発を行う。研究室担当教員は上司役，その他の教員はユーザ役となり，独立した視点からプロジェクトマネジメントの定量的評価を行う。

この事例に関して，話題提供する際のタイトルを検討した結果，「知識の実践的活用と創造的能力を向上させる PBL の試み」となり，報告者は，この授業を担当している鴻巣努准教授（千葉工業大学社会システム科学部プロジェクトマネジメント学科）にお願いすることとした。

2. 開催要項の検討

開催日時：平成 26 年 11 月 29 日（土）14:00-16:00

場所：青山学院大学 会議室

事例研究（対話集会）：

(1) 開催趣旨説明とこれまでの研究の経緯（10分：委員長）

(2) アクティブ・ラーニングの取り組みに関する話題提供

① 委員による話題提供

「知識の実践的活用と創造的能力を向上させる PBL の試み」

鴻巣努准教授（千葉工業大学社会システム科学部）（確定）

※この他，委員から 2 件ほどを予定。候補としては，スマートハウス，スマートシティ，フレッシュャーズ・セミナー，初年次教育，JUCE Journal 2013 年度 No.3 の事例，等々。議論の結果，委員長中心に検討することになった。

② 参加者による話題提供

参加予定者が，事例を申込書にて事前申請。発表の採否は委員会に一任。

(3) 意見交換

・形式に関しては，他委員会の開催状況をみて確定する（ワークショップ，ワールド・カフェ方式，等々）。

・テープ速記を行う。

・大学名，個人名は使用しない。対応リストを事前に配る（例，○大学□番）。

(4) 課題整理とまとめ

次年度につながるような内容